


オルソケラトロジーレンズの使用手順

- オルソケラトロジーレンズは高度管理医療機器です。ケアの方法が誤っていたり、毎日のケアを怠っていると、レンズが汚れて雑菌が繁殖することにより重篤な健康被害、又は眼障害につながる可能性があります。
- 目に少しでも異常を感じた場合は眼科を受診してください。早期受診・早期治療が重篤な眼障害防止につながります。
- 定期検査時には必ずレンズを持参してください。レンズや目の状態を眼科で確認してもらい、医師の指導を受けて正しいケアを行うようにしてください。


正しい手洗い方法

準備




袖をめくり、水道水で手を洗った後に石けんをつけてしっかり泡立ってます。

丁寧なこすり洗い



①手のひら、②手の甲、③指先、④指の間、⑤母指周囲、⑥手首まで40秒くらい時間をかけて丁寧に洗います。


十分なすすぎ



石けんのぬめりがなくなるまで水道水で十分にすすぎ、けば立たないタオルやペーパータオルで水分をふき取ります。

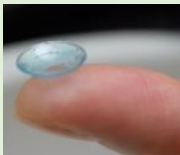
夜レンズをつける時

準備



“正しい手洗い方法”の手順で手洗いをします。


装用



ケースから取り出したレンズを水道水ですすぎ、人工涙液等を数滴たらし、装用します。

★専用レンズケース・スポイトのケア


専用レンズケース、スポイトの洗浄も重要です



レンズケースからレンズを取り出した後、洗浄保存液を捨て左右のフタを取り外します。ケース本体、フタ、ホルダー部分を水道水で洗浄後、十分に乾燥させてください。レンズをはずす時に使用したスポイトも洗浄・乾燥させてください。3ヶ月に1回、定期的に新しいレンズケースとスポイトに交換し、清潔にご使用ください。
汚れたレンズケース・スポイトの使用は眼障害につながる可能性があります。


●朝レンズをはずす時

準備



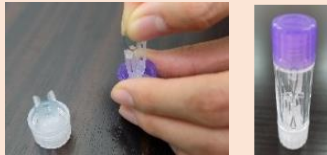
“正しい手洗い方法”の手順で手洗いをした後、レンズが黒眼の上で動いていることを確認してからレンズをはずします。はずしたレンズを流水で十分すすぎます。

洗浄



洗浄保存液、こすり洗い用洗浄液を使用し、**レンズの両面を洗浄液の説明書の通り洗浄します。**


保存



左右を間違えないようにレンズをレンズケースに入れ、洗浄保存液をレンズ全体が浸かるように入れます。

◆定期的なレンズケア

タンパク・脂肪除去



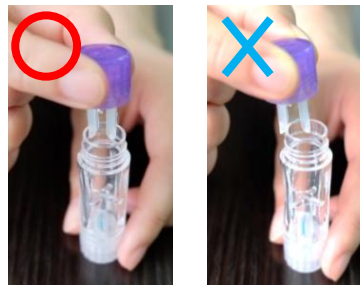
2週間に1度、タンパク除去剤（コレクトクリーン）等を使用して毎日のこすり洗いでは落としきれなかったタンパク汚れを落とし、汚れの蓄積を防ぎます。

オルソケラトロジーレンズの取扱注意点

ケース収納の際の注意点



① レンズがきちんとホルダーに収まっていない状態では、レンズが脱落する場合があります。

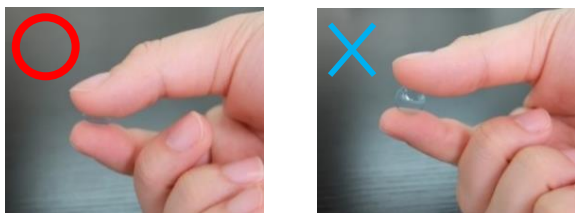


② レンズをケースのフチにぶつけてしまうとレンズの破損原因となります。

【注意！】

- レンズをケースに収納する際、
① レンズがホルダーに収まっている事を確認し、
② レンズをケースのフチにぶつけないように注意してください。

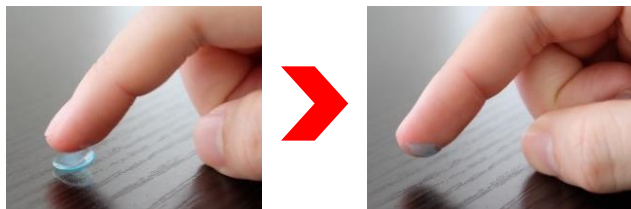
レンズの持ち方の注意点



【注意！】

- レンズは、親指と人差し指の腹で軽く持ってください。
- レンズの変形の原因になりますので、レンズを縦に持ったり、強く持たないようにしてください。
- レンズがキズつく原因になりますのでハンカチやティッシュペーパーなどでこすったり、拭いたりしないようにしてください。

レンズを落とした時の注意点



【注意！】

- レンズを床などに落としてしまった際に、焦って拾おうとするとレンズをこすりつけ、キズの原因となってしまう場合があります。
- レンズを拾う時は落ち着いて、正しい扱い方で拾うように注意してください。

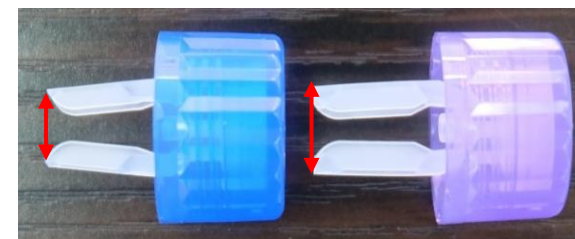
人差し指の腹を水で濡らし、軽くレンズに触れレンズを吸い上げます。

その他の注意点

【注意！】

- ハンカチ、メガネ拭き、ティッシュペーパーなどでこすったり拭いたりしないでください。レンズの破損、変形、キズの原因になります。
- レンズに化粧品、ヘアスプレー、ベンジン、アルコール、シンナー等の薬品、油類をつけないでください。レンズが膨張、変形し、しみるなどの症状が発生することがあり、レンズが使用できなくなったり、眼障害の原因になることがあります。
- レンズを熱いお湯につけたり、高温の所におかないでください。レンズの破損、変形の原因になります。
- こすり洗いを行う際は、手のひらにレンズの凹面を上にして置き、爪がレンズに触れないように指の腹で軽くこするように洗浄してください。凸面を上にしたたり、強くこすり洗いを行うと破損、変形、キズの原因になります。

必ず専用のレンズケースをご使用ください



ハードコンタクト用 オルソケラトロジー用

【注意！】

- 一般的なハードコンタクトレンズ用のレンズケースをオルソケラトロジーレンズに使用すると、ホルダー部分のサイズが異なるため、破損・歪みの原因となります。

レンズケースは必ずオルソケラトロジー専用のものをご使用ください。

- レンズケースやスポイトは3ヶ月に1回、定期的に新しいものと交換し、清潔に保ってください。

ケア方法

洗浄保存 洗浄保存液：コレクトケア



①手洗い・はずす

手に石鹸をつけてしっかり泡立て、指の間、手首まで丁寧に洗います。レンズが黒眼の上で動いていることを確認してからレンズをはずします。

※紛失防止のため、レンズキャッチを用意します。



②洗浄・こすり洗い

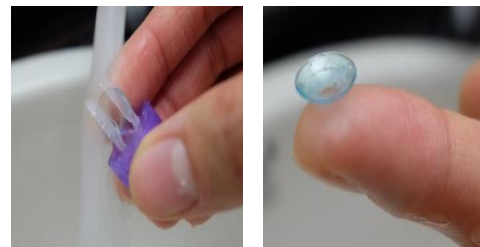
手のひらにレンズ凹面を上にしてレンズを置き、コレクトケアをレンズに数滴落とし、爪がレンズに触れないように指の腹で軽くこするようにレンズの両面をていねいに15秒程度洗浄します。レンズを水道水で十分すすぎます。



③つける

レンズをホルダーに差し込んだまま、水道水で十分にすすいでから装用します。

※汚れが落ちにくい場合は、こすり洗いの回数を増やしてください。



※保存

レンズをレンズケースのホルダーに左右間違えないように収納します。レンズケースにコレクトケアを9分目まで入れ、キャップを閉め、そのまま放置します。

※長期保存する場合
洗浄・擦り洗いの手順を行って保存してください。1ヶ月に1度は液を交換してください。



こすり洗い

洗浄液：コレクトジェルケアプラス



通常の手順の中に、更にこすり洗い用の洗浄液を使用したこすり洗いを推奨しています。

※使用頻度は医師の指示に従ってください。

②洗浄・こすり洗い

手のひらにレンズ凹面を上にしてレンズを置き、コレクトジェルケアプラスをレンズに数滴落とし、爪がレンズに触れないように指の腹で軽くこするようにレンズの両面をていねいに15秒程度洗浄します。ヌルヌルした感じがなくなるまでレンズを水道水で十分すすいでください。



ケア方法 タンパク洗浄液：コレクトクリーン



洗浄液



専用ケース

- ①レンズを洗浄保存液でこすり洗いし水道水でよくすすぎます。
- ②専用ケースのフタ部ホルダーにレンズを差し込みます。
- ③専用ケース本体にA液とB液を注ぎいれます。
- ④フタ部を専用ケース本体にかぶせ回し閉めます。
- ⑤専用ケースを2～3回軽く振り、30分間つけ置きます。
- ⑥フタ部を外し、レンズをホルダーごと水道水で30秒以上すすぎます。
※洗浄後のレンズをそのまま装用すると眼障害につながります。
- ⑦洗浄保存液でこすり洗いを行い、水道水でよくすすいでから装用します。
※専用ケースは水道水でよくすすぎ自然乾燥させてください。

- レンズを取り扱う前には、手指を石けんできれいに洗ってください。
- レンズに爪が触れないように注意してください。
- 溶液ボトルはレンズケアをする直前に開封してください。
- 専用ケースを必ず使用してください。



オルソケラトロジーレンズのケアの重要性について

- レンズを安全・快適に使用するために、レンズの洗浄・すすぎ・保存などの レンズケアを徹底してください。
- レンズケースは清潔に保ち、3ヶ月に1度を目安に、定期的に交換してください。
- オルソケラトロジーレンズはレンズ内面に溝がある為、浸け置き洗浄のみでは取り切れない汚れが残ってしまう場合があります。また、レンズのケアをせず使用し続けると、重篤な健康被害又は眼障害につながる可能性があります。
- 右写真の『汚れたレンズ』のように汚れが蓄積しないように、必ず毎日正しいレンズケアを行ってください。



ケア不足により
汚れたレンズ



汚れのない
レンズ